

## 《英語》

### 教科のねらい

1. 英文読解力およびコミュニケーション能力を養うために、幅広く教材を活用し、自ら目標や課題をもちながら英語学習を進めていく態度を育てる。
2. 自分の考えを英語で伝える能力を伸ばす。
3. 大学受験に必要な学力の育成をはかる。
4. 英語的発想や論理の展開、日本文化と、特に英語圏の文化の共通点や相違点についても理解を深め、日本語や日本文化を客観的に見る目を養う。

English Communication II	単位数	4	単位
--------------------------	-----	---	----

### 1. 学習の到達目標

学習の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) Communication IIの教科書に出てくる言語材料を確実に理解し、概要や要点をしっかりとらえられるようにする。</li> <li>(2) 英語を聞いて、その情報内容を理解し、それについて自ら情報発信できるようにする。</li> <li>(3) 英語のサイドリーダーや長文を読み、更に英語に慣れるとともに扱われている内容の概要をとらえられるようにする。</li> <li>(4) 英語を使ったコミュニケーション活動につなげられるようにライティング能力、リスニング能力およびスピーキング能力が向上できるようにする。</li> <li>(5) 英語表現を積極的に行い、コミュニケーションを楽しめるようにする。</li> </ol>
使用教科書・副教材等	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) UNICORN English communication 2(文英堂) 及び付属CD, ワークブック</li> <li>(2) WORDBOX (美誠社)、「システム英単語 改定新版(駿台文庫)」</li> <li>(3) 長文問題集 総合問題集、長期休業中の問題集</li> <li>(4) サイドリーダー</li> </ol>

### 2. 学習計画および評価方法

学期	学習内容	月	学習のねらい	考査範囲
第1学期	L1 Accessibility for Everyone	4	読んだ後、そのエッセイの主題について自分の考えがどう影響を受けたか発表できる。主題について意見を述べるができる。 ＜発展的比較表限/S+V(be 動詞)+C(that 節)/無生物主語＞	[ 中間考査 ]
	L2 The Problem We All Live With	5	関心のある社会問題について、複数の視点を客観的に説明し、自分の意見を発表できる。 ＜S+V+C(分詞)/to 不定詞の受動態/倒置＞	
	L3 Eat the “Ugly” Carrot, Save the World	6	筆者の意見への同意または反対意見を、具体的な理由や例に基づいて発表できる。 ＜譲歩/to 不定詞 happen to do など/同格＞	
	[ 課題・提出物等 ] 教科書付属のワークブック、サイドリーダーのレポート用紙 [ 第1学期の評価方法 ] 定期考査の得点、単語テスト、課題の提出、学習態度から総合的に評価する			
第2学期	L4 Through the Eyes of Imagination	7	一つのものに対して、複数の見方や考え方ができる例を挙げ、異なる視点の背後にある理由を説明することができる。 ＜to 不定詞のさまざまな表現/強調構文/否定表現＞	[ 中間考査 ]
	L5 More Than a Baseball Team	8	関心のある実在した組織や個人の活動について説明し、自分の考えるその活動の重要性を説明することができる。 ＜seem to do と It seems that/分詞構文の完了形/独立分詞構文＞	
	L6 What Is Uniquely Human?	9	ある比較可能な対象について、類似点と相違点を挙げて、対比的に説明できる。 ＜先行詞のない関係詞/仮定法のいろいろな形/to 不定詞の完了形＞	

第2学期	L7 The Power of Choosing	10	ある主題について、説明のためエピソードや具体例を加えながら発表ができる。 <名詞構文/複合関係詞/S+V+it +名詞[形容詞]+that 節>	[ 期末考査 ]
	L8 The Sagrada Familia and the 3-D Printer	11	関心のある建造物について、その特徴や建造の経緯をまとめ、発表ができる。 <分詞構文の否定形/with+o+分詞など/There is [are]~+分詞 >	
[ 課題・提出物等 ] 教科書付属のワークブック、サイドリーダーのレポート用紙				
[ 第2学期の評価方法 ] 定期考査の得点、単語テスト、課題の提出、学習態度から総合的に評価する				
第3学期	L9 The Future of AI	12	関心のある科学技術について、それがどのようなもので、現在の進展の程度をまとめ、発表できる。 <いろいろな未来/動名詞の意味上の主語・受動態/to 不定詞の否定>	[ 期末考査 ]
	L10 Just Enough	1	環境問題について、自分が特に問題だと考えることについて説明し、自分の意見と可能な解決策を発表できる。 <条件/動名詞の否定・完了/仮定法現在>	
	[For Reading] The Dandelion Girl	2		
[ 課題・提出物等 ] 教科書付属のワークブック、サイドリーダーのレポート用紙				
[ 第3学期の評価方法 ] 定期考査の得点、単語テスト、課題の提出、学習態度から総合的に評価する				
[ 年間の学習状況の評価方法 ] 定期考査の得点、単語テスト、課題提出、学習態度、出席状況を考慮して、総合的に評価する。				
確かな学力を身につけるためのアドバイス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語の四技能の基礎は語彙であり、各課の新出単語・熟語に加え日々の語彙学習に力を入れることが肝要。</li> <li>・テキストの内容を理解するためにたくさん読む。理解した後で、何度も音読することによって英語のリズム（音や構造）が身につくようになるので、すらすらと英文を読めるようになるまで声に出して読んでみる。</li> <li>・テストは受けた後が大事。定期テストや模試などを受けた後は、解答・解説を読みながら徹底的に誤答ノートに解きなおす。</li> <li>・英語で表現することができるようになるためには、確かな文法知識が欠かせない。文法の使用場面や働きを理解し、適切な場面で自分の言いたいことを正しく表現できるように学習に取り組む。</li> <li>・英語でコミュニケーションするとき最も大切なことは、間違いを恐れて消極的にならないことであり、相手に言いたいことが通じることを大切にして、積極的に話すように努める。</li> </ul>			
授業を受けるに当たって守ってほしい事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の予習・復習をきちんとする。特に、予習の時の疑問点は授業の中で積極的に質問し、説明を聴いて解決するようにする。</li> <li>・英文を読んだり聞いたりするときは、多少難しいことがあっても、前後関係などから意味を考えるようにする。</li> <li>・英文を書く活動は英語力を伸ばすためにとても大切である。課題として出された作文には真剣に取り組み、必ず提出するようにする。</li> <li>・英語で話す時はできるだけ正確な発音を心がける。いい発音ができれば、コミュニケーションがスムーズになるだけでなく、英語の学習全般に良い影響を及ぼす。</li> </ul>			